

2021 年度 日本小児血液・がん学会血小板委員会活動報告

1. ガイドラインの改訂

CQ1～10を設定し、2020年度委員およびオブザーバーにて Minds に則り分担執筆した。CQ2：ファーストライン治療、CQ3：セカンドライン治療に関してはガイドライン専門書士による文献検索後にシステマティックレビューを行った。CQ 毎に全委員およびオブザーバーにて査読を行った。結果をメール審議し推奨文および解説文を作成した。最終案は 2021 年 6 月に完成予定である。2021 年内出版公表を目指している。

2. 小児に対する未承認薬の公知申請について

2020 年 9 月の医療上の必要性が高い未承認薬・適応外薬検討会議において、小児 ITP に対するリツキサン、レボレード、ロミプレートの医療上の有用性が認められ公知性について審議が行われている。

3. 血小板委員会規定の改訂

2021 年 1 月に血小板委員会規定の改訂を行った。メール審議にて、委員会の目的と委員会としての事業を明文化した。

4. 小慢疾病概要・診断の手引き・修正を各委員で分担し行った。2020 年 11 月 20 日に小児血液がん学会提出した。小慢ホームページのアップロードを 2021 年 3 月末までに行った。

5. 「先天性血小板減少症・異常症の診療ガイド」の作成と日本小児血液・がん学会雑誌への投稿を 2021 年 5 月に行った。

6. 2021 年度の活動方針（2021 年度第 1 回日本小児血液・がん学会血小板委員会開催

日時：2021 年 5 月 30 日 15：00～16：30）（Zoom 開催）

- 1) 小児 ITP ガイドライン改訂を完成し学会誌へ投稿する。
- 2) ガイドライン改訂に伴う学会の疾患登録項目の変更を検討していく。
- 3) 経時的な予後調査体制の構築ができるかを検討していく。
- 4) 学会ホームページの更新を行う。
- 5) 国際的に使用されている Kids' ITP Tool を使用した QOL 評価票の導入を検討する。

(2021 年 6 月 7 日 文責：東川)